



2004年9月30日

社会貢献支援財団、 「平成16年度社会貢献者表彰」の 受賞者を発表

緊急時の功績など三部門26件に対し、日本財団賞を贈呈

社会貢献支援財団（会長 猪熊葉子）は、「平成16年度（第34回）社会貢献者表彰」の受賞者を発表した。

同財団は日本財団の助成を受け、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、昭和46年(1971)年以来、毎年秋に社会貢献者表彰を行っており、昨年までの表彰件数累計は、1万1千件以上に上っている。

5月17日までに寄せられた222件の推薦の中から選考の結果、第一部門「緊急時の功績」4件、第二部門「多年にわたる功労」11件、第三部門「特定分野の功績」11件、合計26件を表彰することとなった。第一、第二部門には『日本財団賞』として副賞100万円を、第三部門のうち「海の貢献賞」、「国際協力賞」、「ハッピーファミリー賞」には『日本財団賞』として副賞100万円、「21世紀若者賞」には20万円が、各件ごとに贈られる。

なお、表彰式典は11月15日（月）に東京全日空ホテルで行われる。

「平成16年度社会貢献者表彰」の概要

* 候補 : 222件
* 受賞 : 26件

受賞内訳

- ・ 第一部門 : 4件 緊急時の功績 / 日本財団賞 (副賞100万円)
 - ・ 第二部門 : 11件 多年にわたる功労 / 日本財団賞 (副賞100万円)
 - ・ 第三部門 : 11件 特定分野の功績 / 日本財団賞 (副賞100万円)
- 上記部門のうち21世紀若者賞のみ日本財団賞 (副賞20万円)

第三部門の各賞の内訳

海の貢献賞	3件
国際協力賞	2件
ハッピーファミリー賞	3件
21世紀若者賞	3件

功績区分の内容

第一部門<緊急時の功績>

- ・海難・水難、交通事故、遭難等の際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生の際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績

第二部門<多年にわたる功労>

- ・精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績
- ・その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

第三部門<特定分野の功績>

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良等をされた方の功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

『国際協力賞』

- ・日本(人)が関係する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績

『ハッピーファミリー賞』

- ・多くの子供を育て苦労を重ねながらも明るく生きてこられた方々や、親や家族の尊さを自覚しそのために尽くす若者の功績

『21世紀若者賞』

- ・自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

表彰選考委員

- 委員長 曾野 綾子(日本財団 会長)
猪熊 葉子(聖心女子大学 名誉教授、当財団会長)
犬丸 一郎(トット基金 理事、当財団 理事)
金平 輝子(元・東京都副知事)
日下 公人(東京財団 会長)
藤原 正彦(お茶の水女子大学 教授)

報道関係のお問い合わせ先

社会貢献支援財団 <http://www.fesco.or.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル2階
TEL : 03-3502-0910
FAX : 03-3502-7190
E-mail : fesco@mve.biglobe.ne.jp

平成16年度 社会貢献者表彰受賞者 (計26件)

【第一部門】 緊急時の功績 4 件

番号	受賞者名	年齢	都道府県	生年月日
1	ジョエル・ブリュアン	56歳	東京都	1948.1.1
	むとう きみこ 武藤 紀美子	45歳	東京都	昭和34年4月18日
2	こ.すずき ぎいち 故.鈴木 義一	享年70歳	静岡県	-
3	おおたけ ゆうき 大竹 祐希	24歳	東京都	昭和54年12月3日
4	こ.ふじくら ひさたろう 故.藤倉 久太郎	享年34歳	沖縄県	-

【第二部門】 多年にわたる功労 11 件

5	さいとう くにご 斎藤 くに子	82歳	ポリビア共和国	大正11年3月23日
6	しま たよ 島 多代	67歳	東京都	昭和12年7月6日
7	Dr.P.K.ゴパール Dr.P.K.ゴパール	63歳	インド	1941.5.13
8	おおくぼ えみこ 大久保 恵美子	57歳	東京都 / 富山県	昭和22年10月22日
9	ふじおか ひろあき 藤岡 博昭	77歳	岡山県	昭和2年10月18日
10	ローゼンダール弘子・寺本 ひろこ てらもと	72歳	オランダ王国	1932.3.30
11	あおき たかやす 青木 孝安	74歳	東京都	昭和5年6月28日
12	はやし みつお 林 三雄	92歳	富山県	明治45年2月4日
13	しんさいがつかなくぜんこくネットワー 震災がつかなく全国ネットワーク	-	兵庫県	-
14	いまい まさかず 今井 政一	75歳	大阪府	昭和4年1月7日
15	ながはま ふかし 永瀆 滉	68歳	鹿児島	昭和11年7月6日

【第三部門】 特定分野の功績 (以下1～4の合計 11件)

1. 海の貢献賞 3 件

16	みき しげひろ 三木 茂廣	54歳	香川県	昭和25年9月4日
17	いとう きゆうすけ 伊東 久助	88歳	千葉県	大正5年8月12日
18	ひらみつ しげお 平光 重夫	60歳	岐阜県	昭和19年10月18日

2. 国際協力賞 2 件

19	ちえ べえんでえ 崔 秉大	75歳	大韓民国	1929.7.27
20	しもんず・れおなるどしんぶ シモンズ・レオナルド神父	79歳	高知県	1925.7.31

3. ハッピーファミリー賞 3 件

21	きし えいじ・のぶこ ほか10めい 岸 英治・信子 他10名	50歳 49歳	熊本県	昭和29年 4月14日 昭和30年 5月24日
22	くによし かなこ 国吉 佳奈子	52歳	沖縄県	昭和27年3月9日
23	さたけ ゆうじ・さちこ ほか9めい 佐竹 勇治・佐智子 他9名	52歳 44歳	京都府	昭和27年7月26日 昭和35年2月15日

4. 21世紀若者賞 3 件

24	つくばだいがくしゃかいふくしけんきゅうかい 筑波大学社会福祉研究会	-	茨城県	-
25	こうちしょうぎょうこうとうがっこうせいとかい 高知商業高等学校生徒会	-	高知県	-
26	つぼうち みなみ 坪内 南	27歳	東京都	昭和52年8月29日

第一部門<緊急時の功績>

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援につくされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績

ジョエル・ブリュアン (1948. 1. 1生 56歳 / 東京都)

武藤 紀美子 (昭34. 4.18生 45歳 / 東京都)

顔見知りの老夫婦が住む家の火事を知るや直ちに駆けつけ、燃えさかる屋内に果敢にも侵入して逃げ遅れた老夫婦を抱えだし、間一髪のところ二人の命を救った。

推薦者 : 東京消防庁 / (財) 全国消防協会

故・鈴木 義一 (享年70歳 / 静岡県)

前日の雨で増水した花倉川の淵の部分で児童2名が溺れていることを知るや、高齢の身で直ちに水温の低い2月の川に飛び込んで救助に向かい、児童1名を助けたが自らは亡くなられた。

推薦者 : (財) 警察協会
静岡県藤枝市教育委員会

大竹 祐希 (昭54.12. 3生 24歳 / 東京都)

東京都江戸川区を流れる中川に児童が足を滑らせ転落するところを、たまたま橋を通行中の大竹さんが目撃し、直ちに現場に駆けつけ着衣のまま川に飛び込み、児童を無事救助した。

推薦者 : 東京消防庁 / (財) 全国消防協会

故・藤倉 久太郎 (享年34歳 / 沖縄県)

ボードセーリングの部活動中、天候が悪化したため一旦岸に引き上げたが、沖に取り残された友人二人を救おうと荒れる海に引き返し、二人を救い自らは亡くなられた

推薦者 : 社会貢献支援財団

第二部門＜多年にわたる功労＞

- ・精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

斎藤 くに子 (大11. 3.23生 82歳 / ボリビア共和国)

ボリビア共和国の地方都市で、25年にわたり住民の福祉向上、就中、乳幼児、児童、未婚の母、売春婦など弱者のために力を尽くされ、また地域住民が必要とする医薬を安価に身近で入手できるようにされた。

推薦者 : 社会貢献支援財団

島 多代 (昭12. 7. 6生 67歳 / 東京都)

子どもに良書を与えるため国際的なスケールで多年にわたり活躍して多くの優れた業績を残し、内外関係者の高い評価を受けてきた。とくに世界64ヶ国が加盟する児童書の国際的ネットワークである国際児童図書評議会会長として大きな業績を残した。

推薦者 : 亀田 邦子

Dr. P. K. ゴパール (1941. 5.13生 63歳 / インド)

自らハンセン病回復者として病と偏見に苦しんだ体験に基づき、ハンセン病回復者の共生・尊厳・経済向上を目指す国際ネットワーク・IDEA発足に奔走し、IDEAインドの活動を支え、回復者の連帯と尊厳の回復に献身している

推薦者 : 紀伊國 献三

大久保 恵美子 (昭22.10.22生 57歳 / 東京都・富山県)

長男をひき逃げで亡くされた際の経験をもとに、被害者や遺族への精神的サポートの必要性を訴え、被害者自助の集いを開催するほか、救いを求める全国の被害者たちへの精神的支援を続けている。

推薦者 : (社)被害者支援都民センター

藤岡 博昭 (昭 2.10.18生 77歳 / 岡山県)

27年前、教え子の知的障害児達に自立して安心して働ける場所を与えるため「たけのこ村」を建設して彼等と自給自足の生活を送り、陶器の制作・販売による自立を図り、着実に実績を積み重ねて全国の障害児達に生きる自信と希望の道を示している。

推薦者 : 社会貢献支援財団

ローゼンダール弘子・寺本 (1932.3.30生 72歳 / オランダ王国)

オランダ王国、デン・ハーグで20年前から、所持金や航空券の盗難などの被害に遭った日本人旅行者やオランダ在住日本人の世話をご子息とともにボランティアでされている。また日系二世の訪日や父親探しを支援している。

推薦者 : 表 彌生

青木 孝安 (昭 5. 6.28生 74歳 / 東京都)

昭和51年、都会の子供達を山村の学校で1年間学ばせ、村の生活を経験させ豊かな自然の中でのびのびと育てる「山村留学制度」を創設し効果を上げて来た。今では活動は全国に広がり過疎の自治体の活性化にも役立っている。

推薦者 : 富岡 賢治

林 三雄 (明45. 2. 4生 92歳 / 富山県)

大学教授時代に幼児教育の重要性を痛感し、教授退職と同時に私財を投じて幼児教育の施設「こどもものその」を高岡市に開園、以来27年間無報酬の園長として自らが理想とする幼児教育を続けている。

推薦者 : 金丸 晴美

震災がつなぐ全国ネットワーク (兵庫県)

阪神淡路大震災を機に全国の災害救援団体がネットワークを作り緊急時の救援体制に備え、初動体制のボランティアコーディネートの方策を研究し、国内外の災害時において、このネットワークを生かした救援活動を行い成果を挙げている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

今井 政一

(昭 4. 1. 7生 75歳 / 大阪府)

大阪府立堺聾学校で歯科技工科設立以来39年間にわたり聴覚障害者の歯科技工士養成に尽力し、多数の歯科技工士を育てた。その中には台湾からの留学生も含まれ、国内のみならず海外の聴覚障害者やその保護者にも将来への希望を与えた。

推薦者 : 坂井 美恵子

永瀆 滉

(昭11. 7. 6生 68歳 / 鹿児島県)

内之浦港甲防波堤灯台の監視協力者を委嘱され、43年間灯火の状況を毎夜見守り、航路標識事務所への異常通報と応急措置の実施等を通じて航行船舶の安全確保と海難防止に貢献されている。

推薦者 : (社) 燈光会

第三部門＜特定分野の功績＞

『海の貢献賞』

- ・海的安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良等をされた方の功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

三木 茂廣 （昭25. 9. 4生 54歳 / 香川県）

立体構造を平面に展開し船舶の製造に不可欠とされる「現図」の制作には、劣悪な作業環境での多年に亘るたゆまぬ努力と天賦の才能を要求されるが、三木氏は多年その業務に携わる第一人者として我が国の造船業に貢献してきた。

推薦者：（社）日本中小型造船工業会

伊東 久助 （大 5. 8.12生 88歳 / 千葉県）

小学校卒業以来たたき上げてきた網漁師としての豊富で優れた経験により請われて東京水産大学技官となり、授業・実習や氏の考案になるユニークな模型網で後輩を指導して明日の我国漁業に貢献し、海外協力事業にも参加して国際貢献に努めた。

推薦者：加藤 都子

平光 重夫 （昭19.10.18生 60歳 / 岐阜県）

昭和40年代の大型タンカー（VLCC）、大型コンテナ船、LNG船、大型客船の建造に伴い、搭載される発電機、電動機も大容量化される中で、最も大形部品であるフレームの旋盤加工技術の考案、改善に取り組み、高度な技術を確立すると共に技能の伝承に貢献している。

推薦者：大洋電機（株）

第三部門＜特定分野の功績＞

『国際協力賞』

・日本（人）が関係する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績

崔 秉大 (1929. 7.27生 75歳 / 大韓民国)

在釜山日本総領事館の現地職員として約30年間に亘り、反日感情の強い中、在留邦人保護に携わり、退職後も韓国芙蓉会及び慶州ナザレ園顧問、同地韓日親善協会副会長として在留日本婦人を支援している。

推薦者 : 友永 幸讓

シモンズ・レオナルド神父 (1925. 7.31生 79歳 / 高知県)

来日以来49年にわたり養護施設の子供達やハンセン病患者とその家族の支援など、様々な奉仕活動を始め、市民のボランティア活動を啓発・育成し、深い人間愛と弛まぬ行動力で市民に尽くしてきた。

推薦者 : 武田 紀
高知ボランティア・ビューロー一同

第三部門<特定分野の功績>

『ハッピーファミリー賞』

- ・多くの子供を育て苦勞を重ねながらも明るく生きてこられた方や、親や家族の尊さを自覚してそのために尽くす若者の功績

岸 英治・信子 他10名 (昭29. 4.14生 50歳 / 熊本県)
(昭30. 5.24生 49歳)

夫妻と7男3女12人家族の岸家では、家族のために必死に頑張る両親を子供達全員がそれぞれ出来ることを積極的に手伝って支え、一家の非常時を家族全員の知恵と愛情とチームワークで乗り越えてきた。

推薦者 : 社会貢献支援財団

国吉 佳奈子 (昭27. 3. 9生 52歳 / 沖縄県)

東京で育ち戦争の傷跡の残る沖縄の渡嘉敷島(村)の国吉家に嫁ぎ、夫が急死した後、病弱の義父と3人の子供を抱え、本土出身者に対する厳しい視線の中で家業を切り盛りし、島の観光化に尽くして島の人々から絶大な信用を得るとともに、子ども達を立派に育て上げた。

推薦者 : 国吉 晴大

佐竹 勇治・佐智子 他9名 (昭27. 7.26生 52歳 / 京都府)
(昭35. 2.15生 44歳)

幼い子供達まで11人家族全員が力を合せて、築50年を越す老朽化して手狭な我が家のリフォームを見事に成し遂げ、その過程を通じて家族の絆と思いやりの大切さを示した。

推薦者 : 社会貢献支援財団

第三部門＜特定分野の功績＞

『21世紀若者賞』

- ・自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

筑波大学社会福祉研究会 （茨城県）

30年前から、つくば市、土浦市を中心に地域の児童擁護施設、知的障害者更生施設、老人ホームをグループに分かれて訪問して社会福祉活動を続け、地域とその住民のために自分は何が出来るかを考え実践している。

推薦者：社会貢献支援財団

高知商業高等学校生徒会 （高知県）

1994年からラオスに学校を建てる国際協力活動に取り組み、2年ごとに取組みを発展させて今年で11年目を迎え、現在では高校生が主体的に高校の特性を生かして行うユニークな地域国際協力活動として高い評価を受けている。

推薦者：高知商業高等学校

坪内 南 （昭52. 8.29生 27歳 / 東京都）

アフガニスタンで現地スタッフを統括して地雷回避教育プロジェクトを実施し、国連担当部署に働きかけて国連アフガニスタン地雷対策センターと協力して同国全土で使用する地雷・不発弾回避教育教材の開発の実現に繋げた。

推薦者：社会貢献支援財団